



広島県尾道市教育委員会主催
プログラミング教育研修会



ビーボット教員ワークショップ

令和元年9月30日、広島県尾道市教育委員会の主催によるプログラミング教育研修会が行われ、そこでBee-Bot が教材として使用されました。40名の先生方が「これは楽しい」と実感されるまで、多くの時間を要しませんでした。プログラミング教育では、グラフィック系アプリを使い始めた時、導入時点で挫折してしまう生徒が多く、対応に困っておられたところでしたので、今回の体験会を通じて「これなら自信を持って楽しい授業ができる」と感じられたようです。

写真左

Bee-Bot はプログラミング教育用ロボット教材ですが、誰でも「可愛い」という印象を持つので、先生方さえも感情移入されます。写真は、与えられた課題が成功したので、思わず手を叩いておられるシーンです。「よくやった感」が生じるのは大人も子どもも同じです。



プログラミング学習で大事なこと・・・

1. 生徒が「楽しい」と感じること。
2. 想像力や学びへの動機を高めることが目的で、教材扱いの習熟は手段。
3. 指導が簡単で手間のかからないこと。
4. 授業プランが既定の授業時数内で収まること。

Bee-Bot は、「プログラミング学習に楽しさを」と「指導は易しく簡単であるべき」を基本にしたロボット型知育教材です。スイッチを入れると自動的に動き出す玩具や、仕組みが複雑すぎて自分自身との関りが見えなくなる他のロボットとは一線を画しています。

